

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2024年 3月1日

事業所名

こぎつねくらぶfartlek

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点や改善点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8			法定人数以上の配置があります。前年度以上に保育士、児童指導員共に増やしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			床にはフロアマットを敷き、ワンフロアで活動を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			月に1回以上の面談で、目標値の確認や反省点、改善点を明確にしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			率直なご意見が聞けて、大変ありがたいです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			ホームページ上に公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			社内研修は月に1回行っています。今年度は外部の研修も参加する事が出来ました。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		来年度は新たなアセスメントツールを用いていく予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			全てチームで行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			子ども達からもやりたい事などの聞き取りを行い取り入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			基本的にはには小集団での活動ですが、個々の能力値に応じて活動出来る様作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			気付いた点は随時共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			半年に一回以上はモニタリング・支援会議を行い、個別支援計画書を作成しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2024年 3月1日

事業所名

こぎつねくらぶfartlek

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点や改善点
関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			保護者様を介して行う事もありますが、下校表を頂いたり、また学校でなにかあった際には事前に電話でご連絡を頂いたりと共有させて頂けています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		8		医療的ケアが必要な児童の受け入れがまだないですが、あった場合は連絡体制を整える準備はあります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3		児童発達から放課後等デイサービスに上がった児童に関しては出来ています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		8		まだ、卒業生がいないので行った事はありませんが情報の提供は行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		8		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		8		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2		モニタリング時期以外にも、送迎の際にお話しさせて頂ける機会を頂けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	1		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約の際にご説明させて頂いています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			8	保護者会はありません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			毎月、行事予定を配布しています。今後はSNS等も充実させていける様準備中です。
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2024年 3月1日

事業所名

こぎつねくらぶfartlek

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点や改善点
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			今までも行っていましたが、今後はBCP等も活用して開催回数を増やして行う予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			外部研修・内部研修を通じて全職員で共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			食物アレルギーの指示書がある児童の契約はありませんが、その他のアレルギーに関しては、指示書に基づいて対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			週1回ヒヤリハット事例の検討会を行い共有しています。